

# ソースコード類似性ワークショップのポジションペーパー見本

石尾 隆<sup>†</sup> 山本 哲男<sup>††</sup>

タイトルは著者の意見が分かるようなものを付けてください。また、アブストラクトにも、著者の研究内容あるいはソフトウェア開発の活動と、ソースコードの類似性についての関連性や、その他、主張してみたいことを短く書いてください。

英語タイトル、アブストラクトは不要です。

なお、ポジションペーパーの著者は複数名でもかまいませんが、ソースコードについての類似性の判断は、1人だけで行ってください。

## 1. はじめに

この章では、回答者がどのような立場の人間であり、アンケートに回答したかを説明してください。具体的には、以下の項目を教えてください。

- ポジションペーパー著者が複数名の場合は、アンケート回答者が誰であるか。
- アンケート回答者のソースコード類似性とのかわり。どのような研究で関わっているのか、あるいは開発者として遭遇した経験がどの程度あるか、などなど。
- アンケート回答者のソフトウェア開発経験年数
- Java に関わってきた経験年数
- Java との関わり方：Java のコードを書いている、解析している、授業で教えている、読むけど書かない、などなど。

## 2. アンケート回答

この章では、設問に登場するソースコードの組が、それぞれ、以下の各観点で述べられた行動を取るほど類似しているか、そうではないか、判断を yes/no で、表形式にて回答してください。

判断に悩んでも無回答とはせず、どちらか選んでください。悩んだ理由などがあれば、それぞれ、解説してください。

観点 A 2つのコード片は類似しているので、1つのコードにまとめたほうがよい。

観点 B 2つのコード片は類似しているので、一方にバグがあれば、他方にも同様のバグがあるか調べ

表 1 設問への回答

ソース No.	A	B	C	D	X
1	yes	no	yes	no	-
2					-
3					-
4					-
5					-
6					-
7					-
8					-
9					-
10					-
11					-

たほうがよい。

観点 C 2つのコード片は類似しているので、一方のコードを再利用できそうな場所では、かわりに他方を使ってもよい。

観点 D 2つのコード片は類似しているので、類似しているという事実を記録して管理したほうがよい。

観点 X 著者独自の観点（もしあれば）。著者の研究などに基づく独自の観点がある場合は、その解説を本節に記述し、“X”の列に判断結果を記入してください。独自の観点が特になければ、“X”列は無回答（“-”）のままとしておいてください。また、アンケートに提示されているようなソースコードでは十分に説明ができないと思う場合、「付録」として、代表例となるようなソースコードを添付し、どのような問題を扱いたいかを解説してください。

### 2.1 ソース No.1 についての回答理由

判断理由、悩んだ要因など、説明しておきたいことなどあれば、それぞれ subsection に記載してください。

<sup>†</sup> 大阪大学  
Osaka University

<sup>††</sup> 立命館大学  
Ritsumeikan University

## 2.2 ソース No.2 についての回答理由

特記する理由が特にならない場合は、この節を省略してもかまいません。

## 2.8 ソース No.8 についての回答理由

節を省略した場合であっても、 $\text{\LaTeX}$  の場合であれば  $\text{\setcounter{subsection}{N}}$  命令を使って、 $\text{subsection}$  の節番号 = ソース番号という対応関係だけは維持してください。集計を簡単にするため、ご協力をお願いします。

## 2.9 ソース No.9 についての回答理由

## 2.10 ソース No.10 についての回答理由

## 2.11 ソース No.11 についての回答理由

### 3. 議 論

この章では、著者の立場から、ソースコード類似性について考えたことを自由に記載してください。章タイトルは「議論」以外に変更してもかまいません。

著者が研究において、ソースコードの類似性の問題に遭遇している場合は、たとえば、著者の研究の概要や、著者の研究における類似性とは何であるか、現在抱えている問題点、提案したい手法など、著者の研究について自由に記述してください。

また、この章の議論は、ソフトウェア開発者あるいは教育者など、異なる立場からの議論でもかまいません。たとえば、遭遇したことのある類似したコード片の例や、それによって生じた問題、それに対して考えられる解決策など、自由に議論してください。

### 4. その他論文の構成について

「議論」の章以降は、特に構成に制限はありませんので、自由に編集してください。必要に応じて、謝辞、参考文献などを加えてください。

本文は、謝辞や参考文献を含め、2 ページ以内に収めてください。また、ソースコードの例などを説明するための「付録」は、本文とは別に2 ページまで追加できます。

---